

(様式 5 : 全対象事業共通)

令和 7 年度第 1 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	出雲市地域産業エネルギー利用高度化支援事業
補助事業者名	出雲市
補助事業の概要	<p>市内事業者における再エネ、省エネ設備の導入に対する意識変革を促し、従来のエネルギー利用を転換することにより、地域産業のエネルギー利用を高度化し、経営効率化、ひいては脱炭素化に繋げることを目的とし、勉強会及びエネルギー診断等を実施した。事業は外注し、委託内容は次のとおりとした。</p> <p>ア 勉強会の実施（全 4 回）</p> <p>市内事業者を対象とし、勉強会及び簡易エネルギー診断体験会を対面式で実施。</p> <p>【内容】</p> <p>①気候変動からみる脱炭素の重要性等</p> <p>②再生可能エネルギー・省エネルギー導入によるメリット</p> <p>③事例紹介</p> <p>④国、県及び市の支援メニュー紹介</p> <p>イ エネルギー診断等の実施</p> <p>ウ 再エネ・省エネ設備導入計画策定</p>
総事業費	7, 920, 000円
補助金充当額	7, 920, 000円
定量的目標	<p>① 事業終了時点で達成すべき成果目標</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・勉強会等への参加事業者数 40 事業者（各商工団体 10 事業者）</li><li>・勉強会等参加者へのアンケート結果 理解度 80%以上、満足度 80%以上</li><li>・エネルギー診断等の実施 4 事業者（各商工団体加入事業者から 1 事業者を想定）</li><li>・再エネ・省エネ設備導入画策定 4 事業者（各商工団体加入事業者から 1 事業者を想定）</li></ul> <p>② 事業終了後、将来的に達成すべき成果目標</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・再生可能エネルギー（太陽光発電）の導入量 136,000kW</li><li>・2030 年度 CO2 削減量（2013 年度比） 46%減</li></ul>
補助事業の成果及び評価（事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）	<p>勉強会及びエネルギー診断等を実施し、実績は下記のとおりとなった。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・勉強会等への参加事業者数 35 事業者（50 名）</li><li>・勉強会等参加者へのアンケート結果</li></ul>

	理解度 75%、満足度 78% ・エネルギー診断等の実施 4事業者 ・再エネ・省エネ設備導入画策定 4事業者	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 （※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載）	契約（間接補助）の目的	市の仕様書に基づいた市内事業者のエネルギー利用高度化支援業務実施を目的とする。
	契約の方法	随意契約（プロポーザル方式により採択された提案事業者）
	契約の相手方（間接補助先）	e-dash 株式会社
	契約金額（間接補助金額）	7,920,000円
来年度以降の事業見通し	事業終了後に将来的に達成すべき成果目標に向け、上記事業を複数年実施することで事業者のエネルギーに対する意識変革を促し、事業者の経営効率化、ひいては地域の脱炭素化に繋げる。 また、令和8年度以降については上記事業に加えて前年度実施分の計画フォローアップを実施し、取組結果及び課題等を勉強会等で報告する。	

（備考）

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。